

目指すは「市民みんなで支える楽しい子育てのまち」

市では、平成17年3月に「成田市次世代育成支援行動計画」を策定し、安心して子どもを産み、子育てしやすい環境を作るための取り組みを行っています。

計画の基本理念は、「市民みんなで支える楽しい子育てのまち」。

この基本理念を実現するために、七つの基本目標を掲げ、

子どもと子育て家庭への総合的な支援を行うこととしています。

今回は、これまでの主な目標ごとの進ちょく状況をお知らせします。

目標1

地域における子育ての支援

- 三里塚コミュニティセンター内に「なかよしひろば」をオープン
- 吾妻保育園で一時保育を開始。平成18年4月からは公津の杜保育園で一時保育・休日保育を開始

- 「ジュニアリーダー養成研修会」を実施し、12人の小学6年生をリーダーとして認定

目標2

母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進

- 新生児連絡票を配布。第一子の場合や不安・心配ごとがある人について、必要に応じ訪問を実施。返送数367通・延べ訪問件数155件

- 乳幼児医療費助成について、通院の助成対象年齢を1歳引き上げ4歳未満までに。18年度からは助成対象年齢を小学校就学前まで拡大
- 保健福祉館で実施している「こころの健康相談」で、18年度から医師のほかにカウンセラーを導入

目標3

子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

- 小学生の外国語能力の養成や異文化理解事業を学校や公民館で実施(17年度で終了)。18年度からは、その事業を発展させた、子どもの居場所づくり推進事業「わくわくひろば」を実施
- 教育センターおよび教育支援センター(ふれあいるーむ21)で、学校教育の振興や教職員に対する支援活動、生徒や保護者などの相談を実施

目標4・6

子育てを支援する生活環境の整備・子どもの安全の確保

- 各学校で地域のボランティアによる登下校時のパトロールを実施
- 市内小・中学校に学校情報配信システムを導入し、保護者などへ不審者などの情報を配信
- 18年度からは、市内全域の防犯巡回パトロールに加え、犯罪が多発する下校時間に通学路防犯パトロールを開始



目標5

職業生活と家庭生活との両立の推進

- 吾妻児童ホームがオープン。18年4月には公津の杜児童ホームがオープン

目標7

要支援児童への対応等やきめ細やかな取組の推進

- 教育委員会・健康増進課・児童家庭課で、児童虐待防止ネットワークを整備し連携を図るため、ケース会議を実施。18年度からは県北総地区少年センターも出席し、3カ月に一度のケース会議を開催
- 簡易マザーズホームで、就学児の水療育および個別の理学療法を開始

※成田市次世代育成支援行動計画および平成17年度までの進ちょく状況については児童家庭課のホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/sosiki/jido/index.html>)に公表しています。くわしくは同課(020-115308)へ。